



「ディアシリーズ」

工法・製品編

共和ハーモテック株式会社
事業推進部 東京支店

2017.09.21

蛇かごとは

鉄線(昔は竹)でかごを編み、内部に割栗石などを詰めて、土留工や護岸工として幅広く使用されてきた在来土木材料です。



蛇かごの都市型工法・製品への改良

土木材料から建築材料への改良

- デザイン性
- 景観性
- 耐久性
- 安全性
- 施工性



ディアシリーズ

「ディアシリーズ」とは

「金属製蛇かご」を都市型に
改良・再開発した景観デザイン材料です。

●ディアウォール



- ・自立型
- ・鉄骨支持型
- ・RC固定型
- ・ベンチ

- ・BOX型
- ・L型

●ディアプランター



●ディアグリーンパネル



●ディアウォールEG型



- ・前直型
- ・前法型
- 1:0.3勾配
- 1:0.5勾配

- ・L型
- 1:0.3勾配
- 1:0.5勾配
- ・BOX型

●ディアLGネット



用途

- 土留
- 塀
- 修景壁
- 屋上緑化用の薄層土留
- 壁面緑化用のプランター
- 壁面緑化パネル
- 敷地の高低差処理

など



特徴①

自然素材との融合

中詰材や表面材に石、土、植物、木材などの自然素材を利用した環境に優しい工法です。

- ・ヒートアイランド現象抑制、CO2削減。
- ・癒し効果の期待。



<カゴ + 石>



<カゴ + 石 + 木柵>



<カゴ + 土 + 植物>

特徴②

新しい景観デザインの表現1

- ・多彩なモジュールサイズバリエーションの組合せによる自由設計が可能。**(※モジュールサイズ表参照)**
- ・部材を多角に配置することで、R線形や折れ点処理が可能。
- ・発注者様、設計者様が希望された形状への対応が可能。



【ディアプランター L型】



【ディアプランター L型】



【ディアウォール】

※モジュールサイズ外につきましては別途ご相談させていただきます。

特徴③

新しい景観デザインの表現2

「金属性蛇かご」と、「石、土、植物、木材などの自然素材」をコラボレートすることによって、無機質なコンクリートではない、陰影のある景観が表現できます。



〈石 + 座板 + 土 + 植栽〉



〈大谷石ガラ〉



〈溶岩〉



〈煉瓦〉



〈木材〉



〈割栗石〉



〈玉石〉

特徴④

立体緑化

平面の緑化は勿論、立ち上がり側面部への植栽を行うこと
によって立体的な緑化が可能になります。

※立上り面を植栽する事により狭いスペースでの緑化面積を創出。



特徴⑤

コンクリート廃材の再利用

建築物の解体工事等で発生した**コンクリート廃材**、**大谷石塀の廃材**などを中詰材として再利用が可能です。

環境に配慮したリサイクル工法です。



特徴⑥

施工性の良さと工期短縮

- ・軽量でシンプルな現場組立式の構造なので、**運搬・揚重や設置・組立など施工性に優れます。**
施工時に特殊作業員や大型重機は不要です。

【参考】 L型:H500×B500×L1000・・・約5.2kg/本
BOX型:H500×B500×L1000・・・約7.7kg/本

- ・**現場に合わせた延長調整、コーナ一部形成が可能です。**
※ベビーサンダーや番線カッターで10cm単位での切断が可能です。

- ・コンクリート工法などで必要な養生期間が不要なため、**工期短縮が可能です。**



特徴⑦

高耐久性線材を使用

亜鉛アルミ合金めっき鉄線を使用し、
永久構造物としての高耐久性を実現します。

「めっき付着量：300g/m²以上
アルミ：10%以上、亜鉛：90%以下」

※亜鉛めっき同様の犠牲防食効果に加えて、
アルミニウムの酸化皮膜保護作用により、
亜鉛めっきに比べて2～3倍の優れた
耐食性を発揮します。



※ディアウォールEG型：溶融亜鉛めっき：550g/m²以上